

後藤新平の生誕を祝う

6月4日は、後藤新平の誕生日。当館は入館無料、顕彰会では、旧宅を会場に生誕祭。ボーイスカウトは、新幹線水沢江刺駅「後藤新平と少年」の像の清掃活動に勤めました。奥州市内各地で、誕生日を祝う取組が行われました。

【後藤新平記念館：入館料無料】台湾青年商会来館（ハッピーバースデーを歌う）

水沢青年会議所（水沢JC）と姉妹関係にある台湾の永和国際青年商会（永和JC）メンバー15名と水沢青年会議所の案内役2名、通訳の奥州市在住の伊藤麗春さんの計18名が来館しました。

前日は、水沢青年会議所の皆さんと懇親を深めたため、9時20分という早い時間での訪問研修は、



ちょっとお疲れモードのように感じられましたが、台湾語での「後藤新平の生涯」のスライドビデオがスタートすると、身を乗り出して視聴してくれました。

今日はなぜ無料公開なのか質問があり、「新平さんの誕生日なんです。」と説明すると、青年達から、一斉に「ハッピーバースデー」の歌がこぼれ出てきました。思いがけず、記念館でも誕生祝ができたことに感謝です。台湾コーナーの紹介に加え、李登輝元総統が来館されことも紹介すると、館内の資料も食い入るように見学してくれました。



【後藤新平生誕祭】後藤新平顕彰会（山口了紀会長）主催

後藤新平顕彰会が、新平旧宅において、「後藤新平生誕祭」を行いました。顕彰歌「ゆかりの巨像」の楽曲再生に続き、清泉古流岩手支部の協力により参加者全員の「祝生誕挿花」で、華やかにオープニングを彩られました。続いて、山口会長が、ボーイスカウトのモットーである「備えよ常に」を取り上げ、我々自身も心したい言葉であると挨拶しました。

その後、記念館佐々木苜子学芸調査員が、「後藤伯母堂・利恵没100年『慈母の訓誡』」と題し、記念講話を行いました。参加者は、約20名。



【「後藤新平と少年」像の清掃活動】

ボーイスカウト水沢第3団と奥州水沢東ロータリークラブ約20名が、水沢江刺駅前に設置されている「後藤新平と少年」の像や周辺の生け垣を清掃しました。

例年、誕生日前後の休日に活動をしていましたが、今回はたまたま日曜日。誕生日の活動となりました。観光客も、きっと喜んでくれることでしょう。



【「日本フィル交響楽団」公演】後藤新平賞受賞記念

第16回後藤新平賞を受賞した「日本フィルハーモニー交響楽団」が、後藤新平の御当地御礼公演。

震災以降の被災地訪問活動が認められての受賞ですが、ここ奥州にも心を配っていただきました。

6月16日18時30分開演
奥州市文化会館Zホール
一般 2,000円

